

定数18に31陣営・立候補説明会に セクハラ解散・みなかみ町議選

町長のセクハラ不信任決議を受け、解散された町議選（告示9月4日、9日投票）に向けて17日、立候補説明会が開催されましたが、定数18に31陣営が参加しました。

日本共産党利根沼田地区委員会は、既報の通り候補者を一人に絞り、前議員の星野かずひさ氏を擁立し、セクハラ問題で議会から不信任決議を受けたにもかかわらず、町長の席に居座る前田町長の辞職・退任を訴えてたたかいます。



星野かずひさ前町議

前田みなかみ町長の掲げるRDF問題は争点のすり替え

前田町長が町議会解散の理由にあげた「RDF 燃焼施設の疑惑解明問題」は、不信任決議の「セクハラとその後の町政の混乱」を解決するという争点から町民の目をそらすという「すり替え」そのものです。町議会は、「RDF問題に対する町長の姿勢」が問題になっているわけではなく、不信任決議では一言も触れていません。

みなかみ町のRDFは廃棄物処理法での対応が必要？

みなかみ町のRDFは、品質にも問題があり、いろいろな問題が発生した結果、現在は「燃料」として使用できなくなり、町は「廃棄物」として処理しています。「廃棄物」を燃焼させる場合は、「廃棄物処理法」による届け出や設備が必要です。もちろん環境アセスや地域住民説明会なども必要です。

しかし、県や国がみなかみ町のRDFを「燃料」と認めることがあれば、県や環境省の姿勢が問題になります。現在は認めていませんが、はっきり「不許可」としたわけではなさそうです。

「遊神館」に隣接してつくられた施設が、現在の環境基準に適合しない場合は撤去してもらう以外に方法はなく、町はこの事業に対し、税金はいままで通り支出するべきではありません。

市民が描いた原爆被害の絵を展示 第38回平和のための戦争展が開催されました



平和のための戦争展風景

毎年恒例の「平和のための戦争展」が、利根中央病院で7日から9日まで開催され、日中戦争時の写真や広島・長崎の原爆被害を伝える写真パネル、利根沼田地域に残る戦争遺跡の説明などの資料が展示されました。特に今年は、広島平和記念資料館から借用した原爆被害のリアルな「市民が描いた原爆の絵」が展示されており、被害の現場が再現された絵は、悲惨さが強烈に伝わってきました。



原爆の絵コーナー

1枚の絵

暑い夏の熱戦が開幕！

12日、今年も暑い夏の熱戦が期待できる「市民体育大会」が開幕しました。今年は、市民体育館が改修中なので、水泳大会の会場の市民プールで青空のもと行いました。

12日は水泳大会ですが、19日は各種競技の予選、26日には本戦や決勝が行われます。各地域を代表する選手のみなさんのご健闘を期待し、みなさん応援に出かけましょう。



選手宣誓式

2018年8月26日 No.891

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料